

第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画（案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

件 名	第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画（案）
募 集 期 間	平成28年2月1日（月）～平成28年2月19日（金）
意見提出者数	5名（13件）

※「ご意見に対する市の考え方」の欄のA～Eの区分は、次のとおりです。（複数回答あり）

A	意見を受けて案を修正したもの	0件
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	0件
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの	9件
D	案を修正していないが、他の計画等で定められているもの	3件
E	案の内容についての質問等	1件

第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画（案）に対する意見の概要と考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	文章内の表記「1人ひとり」→「一人一人」または「一人ひとり」 理由：用語なので算用数字は用いないと思います。三寒四温を横書きでも3寒4温とは表記しないのと同じではないでしょうか。 何か意図があるのでしたらすみません。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画を含め、滝川市の公式文書での表記は、算用数字の「1人ひとり」に統一していますのでご理解願います。（E）
2	計画期間が10年間と長いので情勢は変わると思います。3R（リデュース・リユース・リサイクル）から5R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア）の推進になる可能性も出てくるのではないのでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の計画策定過程における、3Rと5Rについての検討の中で、リフューズ（買わない）は、リデュース（発生抑制）の中に、リペア（直して使う）は、リユース（再使用）の中に含めて捉え、もっとも一般的な表現である3Rを推進していくこととして整理したところです。今後、計画の改訂期において、必要な時点で修正をする中で検討してまいりますのでご理解願います。（C）

3	P12（イ）河川環境の項目を受けて、P24の取組（行動）内容が計画されると思います。 「川がまちのシンボルとして親しまれている」ことを受けて、河川の魅力を市民に普及し、河川環境保全への関心を高める具体策がほしいと思いました。「川づくり活動に参加し、云々」の川づくり活動とは何を指すのでしょうか。 昨今は、河川環境保全と防災・減災は、両面で考えなければならない状況下にあります。シンボルとしての河川と環境保全、川の防災・減災を考えて行動することも環境を考えることにつながると思います。川がつくった滝川市の自然環境や特徴を知ることを通して、日常生活と結びつく行動（取組）になればと思います。 石狩川や空知川に学ぶ活動を取り上げてほしいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 「川づくり活動」とは、市や団体によって行われる川との共生に向けた取組のことで、平成27年度においては、石狩川クリーンアップ作戦やみんとち自然体験楽校のような取組が該当します。 川に学ぶ活動については、計画書の中では具体的な記載はありませんが、まち・川づくりサポートセンターをはじめ、エコネット登録団体などが取り組んでいる学習会や調査活動などの情報を収集・整理し、広く市民に発信することとしており、これらの取組によって人と人をつなげることにより、川をはじめとした自然環境への関心を高めるような取組の充実に努めます。（C）
4	滝川高校では、スーパーサイエンスハイスクールの取組を行っていてメインテーマは、「環境共生」です。まさに今回のワークショップとつながることがたくさんあります。また、取組の柱として地域に根差した研究というものがあります。そういう意味で連携を取り、一緒に学ばせていただいて、若者目線で提言や協力させていただけたらと切に思いました。 今後とも連携させていただきたいと思います。よろしくお願いします。	貴重なご意見ありがとうございます。 これまで貴校には、当市の環境市民大会においてスーパーサイエンスハイスクールでの調査活動の成果について発表していただくなどご協力いただいておりますが、今後も様々な場面でご協力を賜りたいと考えております。これからの環境施策を考えていく上で、次世代を担う若者の目線を知ることは重要です。当市では現在高校生を環境学習リーダーとして育成する「エコ部！」に取り組んでおり、今後は両者との連携も含め、一緒に活動ができる機会などの充実を図っていきたいと考えています。（C）

5	P12 3 イ（イ）経営耕地面積について 減少をとどめるために農家の支援を考えて いったらいいと思う。 守るべき環境の根本のところではないでし ょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 美しい農業景観を守るためには、耕地面積の 減少を食い止め、荒廃地を増やさないという取 組も必要です。市では耕地面積の減少を防ぐ施 策として、新規就農者や農業後継者の育成・確 保対策として、補助金や給付金による支援を行 い、農家戸数の減少に対応しているところで すのでご理解願います。（D）
6	P15 4 イ環境教育、エ食育について 農政課、教育委員会、教員など関係者が一 緒にプログラムを考えていく機会があるとい いと思う。そのコーディネーターがいると良 い。	貴重なご意見ありがとうございます。 環境教育や食育事業は、市では農政課や健康 づくり課、教育委員会などで様々な取組を行っ ています。 このような取組や活動などの情報を整理し、 くらし支援課が中心となり、市民のニーズに対 応した情報が提供できる機能や団体同士の交 流を図る機会の充実を図ってまいります。（C）
7	概要版の自然環境・農業について 農家と周りの人をつなげるコーディネータ ーがいると良い。	貴重なご意見ありがとうございます。 コーディネートするためには、専門的な知識 や活動を通じた経験などが求められることか ら、人材の育成は、早急には難しいですが、現 在取り組んでいる農業体験や地産地消、食育な どの事業を通じて情報収集に努めるほか、活動 で育まれた人とのつながりを生かしながら今 後の農業体験事業の可能性を探りたいと考え ています。（C）
8	農業の担い手探しになるようにPRをもっ と広い範囲で行えば良い。	貴重なご意見ありがとうございます。 新規就農希望者を募集するため、PR用パン フレットの作成や東京や札幌で開催される 「新・農業人フェア」に参加し、PRに努めて いますのでご理解願います。（D）

9	江部乙地区が美しい村に選ばれたのだからその環境を守る取組をしてほしい。(地元の人たちの願いも取り入れながら)	貴重なご意見ありがとうございます。 江部乙地区は、「日本で最も美しい村」江部乙協議会を立ち上げ、加盟申請し、平成 27 年に加盟が認められました。江部乙地区には、「日本一の菜の花畑」や「防風林に囲まれたりんご畑」などの素晴らしい地域資源がありますが、これらを地域の人たちが中心となって保全し、地域を活性化する取組を市としても支援してまいります。(C)
10	P13「石狩川ルネサンスの森植樹」について 市民の何割がこの場所を知っているだろうか？行政の都合だけでの植樹を行うのではなく、植樹による効果をもっと市民に周知すべきではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。 これまで石狩川ルネサンスの森の植樹については、広報たきかわや市公式ホームページ等で周知し、参加者を募りながら活動を展開し、植樹については、平成 28 年度をもって完了し、今後は森の維持管理を行いながら、豊かな森へと育てていきます。樹木は、環境教育の優れた教材であることから、環境学習リーダー養成講座、環境市民大会、各種イベントなどで周知を図っていきたいと考えております。(C)
11	P38「環境市民委員」 高校生や短大、大学生などを参加させては、いかがでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 現在、委員は、市民の公募により構成されており、募集については、広報たきかわや市の公式ホームページなどを通じて行っています。環境に関心のある方であればどなたでも応募できます。これからの環境施策を考える上で次世代を担う若者の意見は大変重要であると考えています。現在高校生の環境学習リーダーを養成していることから、彼らに委員会への参加を促したり、意見を交換する機会などを作るなどして、若い世代の意見を環境施策に取り入れてまいりたいと考えております。(C)

12	昨年10月、江部乙地区が「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。認定された地域資源を守ることも大切ですが、やはり「ポイ捨て」や「不法投棄」を根絶することの方が重要だと思います。「日本一ポイ捨ての無い町」を目指す運動を展開してはいかがでしょうか。環境計画・行動計画も重要ですがこちらの方がより実効性があると感じます。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画の中には、不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化、たきかわクリーンデイの実施などを盛り込んでおり、これに基づいて身近な環境を美しく保つための取組を行います。 また、今計画から新たに取り組む「エコライフたきかわ」でも市民が自らの意志によって環境保全に対する意識を高める活動に取り組んでまいります。(C)
13	3-3地区再開発で神部病院と北門信金も大事ですがそれを生かすためには高齢者とその子供たちも滝川に戻ってこられるような安心して暮らせる街づくり、住居と併せ、ふれあい広場等の設置でいこいの場の提供やショッピングが気軽にできて食事もできるところが同じ場所にあればそれを核として街は発展していくと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 中心市街地ににぎわいを取り戻すためには、ご提案のとおり高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまちづくりが必要であると考えております。まちににぎわいが生まれ、利便性が高い住みよい環境が形成されることは、生活環境の充実につながる重要な取組であると考えております。中心市街地の整備につきましては「滝川市栄町3-3地区市街地総合再生計画」に基づき、整備を進めていますので、貴重なご意見として承ります。(D)